



上矢作小学校だより

【学校の教育目標】たくましく すこやかな 上矢作の子

大船山

第 21 号
令和 5 年 3 月 20 日

ホームページ <http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/>

パラダイムシフト

校長 細江 幸次

今年度も数日後に控えた卒業式と修了式を残すのみとなりました。令和 4 年度の終わりに差し掛かり、1 年という時間は本当に短く、意識的に生活していないと何もしないまま、できないままに終わってしまうのではないかとという感じがします。しかし、上矢作小学校のこの 1 年は保護者・地域の皆様のご理解とご協力により、大きな飛躍と成果を残す 1 年になったという実感が十分にあります。それは、58 人の上矢作っ子が毎日の生活を大切にして、運動会、生活総合発表会、社会見学や修学旅行、恵那市教育研究会公開授業(社会、特別支援)、県小理研中間まとめの会等々、地域、来校者の方たちの前でも十二分にもてる力を発揮することができたことからまわると感じています。

この 3 月に 13 人の上矢作っ子が卒業し、4 月には新たな仲間が 1 人加わります。2 月の参観日でもお伝えしたように新年度は 1, 2 年生と 3, 4 年生が複式学級となり、それに伴い職員数が現行より 3 名減となります。初めての複式学級誕生を私自身は上矢作小学校の大きな転換期として、少々大げさな表現となりますが「上矢作小パラダイムシフト」ととらえています。

パラダイムシフト……それまで当たり前だと考えられていたものの見方や考え方、価値観が劇的に変化すること

例 スマートフォンの登場によるコミュニケーション方法や情報収集法の変化，働き方の多様化，デジタル技術の発展，インターネットの普及，新型コロナウイルス感染症の流行

2 月参観日における懇談会では、(1)授業形態はどうなるのか (2)総合学習で行ってきた活動はどう変わるのか (3)行事はどう変わるのか について質問が出されました。

(1)について: 国社算理英の積み上げが求められる教科については学年を主体として授業を行います。複式解消の加配教員を配置していただける見込みであり、時間割を工夫して行います。その他の教科、活動では 2 学年共習という形で授業を行います。

(2)について: これまで各学年で行ってきた野菜の栽培活動はできる限りそのまま残していきます。5 年生で行っていた稲作は縮小→なしの方向、4 年生で行っていた太鼓は 5, 6 年生に移行していきます。6 年生で行っていた気象災害と上矢作病院についての学びは 5, 6 年生で隔年交互に扱っていきます。

(3)について: 複式学級ができることによって一番影響を受ける行事が社会見学となります。学年単独での活動では一人当たりの費用が高額となるため、低・中・高学年ごとの見学として見学先も隔年交互にしていきます。それに伴い目的地も従来のものと変わっていきます。

学校だよりも本号が今年度最後となります。一年間、学校の教育活動に対してご理解と多大なるご協力を賜り、ありがとうございました。新年度も変わらぬご理解ご協力をお願いします。

上矢作っ子の活躍

* 恵那市小学生バレーボール交流会王座決定戦 優勝 上矢作リトル

* 岐阜県青少年読書感想文コンクール 佳作 6 年 中根蒼粋